板黒たで出ん妙をに

り岩板へ泥で経字

まを碑ん石

£ V

市た筑

1

7

2

6

碑雲武いすだ法示、板きど

ん岩父ど題じの

(地を目

し板

、薄

出

張

ノト

ク

C

ح

LJ

親

全力

+

ポ

1

+

T

る

あ片型き緑の華梵子はす。

す用とが片秩なやゅ状。い、ん岩グビ頭にの

内下波をり方彫へ仏い

で総山用ょでり南の石

は型のいく産込無名材

# 街 歴 史探 訪 24 室 時 代 0 八 街 **(2**)

0

燃

の

減

量

協

を

Ó 8

1

5

時

日

時

場

会

場

内

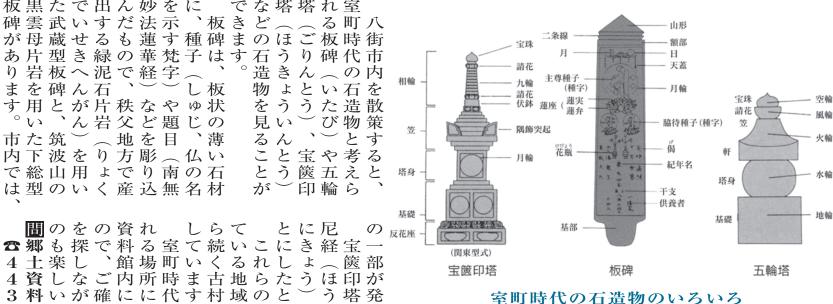
内

容

対

対

象



ごでれ1かべり1こ

△を50 `10雑のす

なりkgたなみ

1ヶ月平均

しののす減月減へで

万、排とこ量でしの可円灰出おとに約て分燃

削の量りになるい別

・想密 れ板文で・小 。 さ表い地風 教五て碑違武用谷

しらて が

届る童

`手

千、を方扶

臨所す児当

時内る童を

窓に時扶受

口ハ期養給

を口に手さ

開一合当れ

時には

日だ

。葉市提が養

の役出

☎子第総分8時ひ

4育2合 月窓ご

て相保午15 🗌 利

支談健後日開用

援室福3 (月)設く

セ30 午 時 さ

ン分前・い

30

10場

時所

祉 時

夕

1

間のをの資れ ☎郷も探で料る室て続いこにき経宝一 £ V まて

紹めし1せ況い児

介細まクて

をやす

実か

施な

ま業

す相

の談

4

3

1

6

9

3

•

職

L 職

篋 部 う塔発 室町時代の石造物のいろいろ 造う納よ、さ小草・谷文すとをと・ る室物供めう宝れ型・根流違 こ町が養たい篋ての岡古・・市れしうか・世の輪いがで蔵草流 と時残塔塔ん印い五田谷小砂内てた考ら火界五塔ま発下型・ を代さでをだ陀ま輪か・谷・でいもえな・は大はす見総板岡稲 元かれするら羅す 塔ら用流大はまの)る水空思、。さ型碑田葉 もら羅す塔ら用流大はまの る水空思 がり円がれご り可年だどの す理約 あしす約削 とみばみまる費2さま燃間け、中すしの、をたこ用0らすごでれ1かべて単約雑、とを4に。み約ば日らて `中すたパ 1 減

`館場町いくるれしょへ 資しなご内所時ま古地らたうほ印が野いが確にに代す村域のとごう塔発 では石いをきは見 あ 示かれす。

でな塔塔れ室

物

を

る

見い

石うり碑代市

と宝や考

とう篋五えと

とに尼

て単約雑

な万のkg 2 しなま 5

り円収当万てつす万

15ととき

価

まの入た円売た

す削にりへ却可

減な10雑す燃

印輪ら

よとい石を

とす

料いが確にに代す村域のと 館から認展つの も散の示い石 し策うして造 れしえては物まて、い、が せみ現ま郷見 んる地す土ら 業き設ワわ現て

> 空はgに でお可年 、のは可り燃度 燃ご でごに イ量 1 み家 5ッが日み の庭 個シ必当を 量か 分 ユ 要 た 10 はら にぺでり% 間願燃の

> > のをか

減すら

量すも

にめ家

にごる庭

協なで

力ど雑を、が

お可み

さ型碑田葉

4す世のれ成

42.518kg

まのれりる帯

箱テ減

き

約

☎クいご分こ 4 リしみ別れ 1 ン 推 進 課

7

ま

す

0

| 表2 家庭から出される可燃ごみの10%減量分(概算) |              |             |        |  |  |  |
|----------------------------|--------------|-------------|--------|--|--|--|
| 1世帯当たりの可燃ごみの量              | 503kg        | 42kg        | 1.4    |  |  |  |
| 家庭から排出された可燃ごみの量            | 15,519,000kg | 1,293,250kg | 42,518 |  |  |  |

間

約雑 とです、 1 が減が約tは(を50 10 mm) - 7 号で7減、表減kg 1 %が家

# 表

7

| 表2 家庭から出される可燃ごみの10%減量分(概算) |             |           |         |  |
|----------------------------|-------------|-----------|---------|--|
|                            | 年 間         | 1ヶ月平均     | 1日平均    |  |
| 可燃ごみ全体の10%減量分              | 1,551,900kg | 129,325kg | 4,252kg |  |
| 1世帯当たりの10%減量分              | 50kg        | 4kg       | 140g    |  |
|                            |             |           |         |  |

| 2 家庭から出される可燃ごみの10%減量分(概算) |             |           |         |  |
|---------------------------|-------------|-----------|---------|--|
|                           | 年 間         | 1ヶ月平均     | 1日平均    |  |
| 然ごみ全体の10%減量分              | 1,551,900kg | 129,325kg | 4,252kg |  |
| 世帯当たりの10%減量分              | 50kg        | 4kg       | 140g    |  |
|                           |             |           |         |  |

### 1世科

年

減処を

平成27年度家庭から出された可燃ごみの量(概算)

|                           | <u> </u>    | J         | U       |  |
|---------------------------|-------------|-----------|---------|--|
| 2 家庭から出される可燃ごみの10%減量分(概算) |             |           |         |  |
|                           | 年 間         | 1ヶ月平均     | 1日平均    |  |
| 燃ごみ全体の10%減量分              | 1,551,900kg | 129,325kg | 4,252kg |  |
| 世帯当たりの10%減量分              | 50kg        | 4kg       | 140g    |  |
|                           |             |           |         |  |

1 、す間利家 の用庭 有さ等

期けの だ用8 か出方助さで月届間出利引月の成ひ な用に成いき分け内が用き31助制と まか出に必を続日成度り せらさ提要希きで期を親 んのれ出と望 なさこ の助なし で成いてご制場く りれの まる助 注度合だす方成 意をはさのは制 いで届度 く利

い紙は制 、度 場を 合郵8を は送月利 子し1用 ま日さ 育 てすまれ 支がでて 12 V3

> 午期間8日 連 時 30 8 絡 < 、ださ 5 1 日 5 61 31 日

効れ医

期て療

限い費

はる等

祝午分月 日後 く15 分

日 を 5 除時

ひとり親の人とり親の人とも

等も 医の

療

問子育で支援課 おより親家庭室 の世康保険証の の場合があっ の場合があっ すが 0 必 要に な

L

## 児 童 扶 養 手 当 Ŧ目 フし 況 届 は お 早 め

り現て を方扶 提は養 手 出 す児当 る童を 必扶受 要養給 が手さ

あ当れ

提 な 月 午出だ子し1受出く分提ま況い児 前期さ育ま日給しな以出す届る童 さてり降さ まのれ 、にてだす手な 課届届いさの当い まか出るいでが場 期受合 間けは 内ら にれ8

、八、受養生児児**持**子出

届

いて すま °支がでれく 援 で な 用 方 ごい紙に 連場をは 絡合郵8

子要養行

間必扶発はにが※・・・

4育と手す前街平給育計童童ち育場

支り用「所へ28ま等持養養た支

援ま所平地転年たに方手手だ援

課す得成の入1は関法当当く課

書度町た日義申調

が童で合降者書

児村場以務告書

てな当る住市成者費維扶扶いて所

証28市さ月扶す確証現も

明年区れ2養る認書況の

は送月

土 8 👸 日 時 308 祝午分月 日後 5 1 を 5  $\mathbf{H}$ 除時 ( <u>ر</u> 15 31 分 日

3

6

9

3

家 庭 等 の医 届療 け費 出等 は助 毎成 年制 必度 要

C

d